



《 国産大豆 》

落札率は低迷、産地や銘柄でバラツキ

4月に2回実施された18年産国産大豆の第11～12回入札結果は、日本特産農産物協会の発表によりますと、上場数は1万4,107t、落札が4,595t、落札率が33%、平均落札価格は前月比60kg/221円安という結果となりました。落札率は依然として低いものの、福島県産は100%、宮城県産は77%、岩手県産は75%と高い落札率（普通大豆）となっています。また、茨城県の「納豆小粒」は、極小粒で60kg/10,820円と高値となっております。

全農からの大豆情報によりますと、3月末時点での18年産大豆の集荷実績（速報値）は、前年対比112%の15万5,383tで、前回に大豆情報委員会から発表された数値よりも下方修正されました。（福岡事業所管内では、台風の影響で前年比65%の2万634t）

3月末累計の販売実績合計は、契約栽培の受け渡し時期が前年産に比べてずれ込んでいることから、前年比76%の約3万6,000tとなっておりますが、契約栽培の今後の確定分を含めると、全体の集荷数量に対して6割弱の販路が確定している状況です。ご希望の銘柄はなるべく早めの手配をお勧め致します。

また、19年産大豆の契約栽培の方法については、原則として数量契約となり（特定栽培、生産者指定の場合は面積契約）、価格は上限下限を設定した入札連動方式となります（北海道は入札連動方式）、なお、契約栽培をご希望の方は、5月18日が申し込み期限となっておりますので、お早めに弊社営業担当者まで、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。

価値有る国産大豆への取り組み

4/26に仙台農業協同組合・泉地区の生産者の方々に集まって頂き、ファーマーズミーティングを開催致しました。

泉地区では5年ほど前から、地域の酪農などと協同でリサイクル堆肥を製造販売しており、既に水田には使用されて高い評価を得ています。

弊社では、大豆の契約栽培で泉地区の生産者をバックアップできないか現在模索しております。生産者の意気込みは高く、農薬・化学肥料節減栽培農産物への取り組みも現在検討中です。

『おいしさ』の裏付けのある大豆・『安全・安心』への取り組みを同時に行える産地とし、弊社では高く評価しております。

ご興味のある方は担当者までお問い合わせ下さい。



上写真 泉地区で生産された大豆を豆乳・おぼろ・木綿にしテクスチャーテストなども

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



《 北米産大豆 》

世界大豆生産予想、上方修正

アメリカ農務省が4/10に発表した世界の大豆生産高予想では、2億3350万tの見通しとなり、上方修正されました。ブラジルで180万t増の5880万t、アルゼンチンで150万t増の4550万tと南米諸国で大幅な上方修正となりました。

NON-GM大豆の供給量減量か

米国の強いエタノール需要を受け、今シーズンの米国産大豆作付面積は減少することが見込まれており、今後、北米の大豆生産農家がNON-GM大豆を生産する利点を見出せなければ、エタノール需要を見込んだトウモロコシ生産とGM大豆の生産比率がさらに高まることになりそうです。

北米で生産されている食品用大豆の需要は日本や北米内だけでなくシンガポールやマレーシア、韓国、台湾といったアジア諸国でも高まっており、日本以外のアジア諸国への輸出の方がメリットが高いという傾向が強まっているとの見方もあり、日本への供給量が減量することを懸念する声は後を絶たない現状です。



《 中国産大豆 》

まもなく作付け開始、しかし相場の高騰続く

今年の大豆作付けが、5/1から5/10にかけていよいよスタートいたします。まだ、作付け面積の公式発表は行われておりませんが、バイオエタノール需要の高まりに伴い、とうもろこしの作付面積の増加や消費拡大による米不足に引っ張られる形で、今年の作付面積は少なからず前年割れというのが、大方の予想です。

現在、産地価格は高値で落ち着いておりますが、今後の価格推移に関しては、値上がり傾向がさらに進むとの見方が強くなっております。理由としては、低温による作付け遅延の懸念、農家在庫の減少、そして、シカゴ相場の高値安定などが挙げられます。

今後も、バイオエタノール需要の動きが、投機対象のファンド、大豆の作付け面積、相場を左右するものと思われます。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>